

(様式2)

2021年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

| | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 静岡県立伊豆総合高等学校 】

| | |
|--------------------|--|
| 1 実践テーマ | I ・ II ・ III ・ IV ・ V |
| 2 実施対象者 (学年・人数) | 全校生徒【430人】を対象 |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育、総合的探究の時間) ② 行事名 (学校祭、パラリンピアン講演会) ③ その他 (オリンピック・パラリンピック自転車競技観戦) (2) 地域における活動 ① イベント名 (修善寺駅周辺での大掃除『修善寺大掃除』) |
| 4 目標 (ねらい) | 地域との連携を推進する本校の教育活動をより活発に行うために、地元開催のオリンピック・パラリンピック (特に自転車競技) にかかわる教育活動を取り入れることにより、生徒がオリンピック・パラリンピックを身近に感じ、一人でも多くの生徒がオリンピック・パラリンピックに参画することを期待する。 |
| 5 取組内容 | ○【保健体育科】 ① 1、2年生保健体育科 (保健) の授業 ・授業の単元内容に応じて、授業の中でオリンピック・パラリンピックに関連した話題を取り入れて実施。 ・夏季、冬季オリンピック・パラリンピックの実施競技をグループごとに考え、クラス内で発表し、実施競技についての学習を実施。 ② 2、3年生選択授業「ライフスポーツ」 ・資料映像を見て、オリンピック・パラリンピックの歴史、精神等を理解し、実施競技について発表し合う等の学習を実施。自転車競技についての理解を深めるとともに各学期の筆記試験で確認。 ③ 令和3年度スポーツ庁委託事業「スポーツの価値を基盤とした教育」の実施協力。 ・2、3年生のライフスポーツ選択者がサイクルスポーツセンターにおいて実施している自転車競技の授業を上記委託事業の内容とした。 |

○【総合的な探究の時間】

(総合学科3年生)

講演：「東京オリンピック・パラリンピック開催地の取組について」
・伊豆市オリンピック・パラリンピック推進課に協力していただき、
オリンピックの講師を招き、伊豆市で行われるオリンピック・パラリンピックに向けた取組や自転車競技についての知識を深めるために講演をしていただいた。



○【修善寺周辺の大掃除によるボランティア精神の促進】

・生徒会主催の『修善寺大掃除』の実施。参加人数合計：約200人

・本年度はコロナ過での活動を余儀なくされ、状況を見て5回の実施。

・「地域交流・地域貢献」、「生徒の自主性」を重視し、生徒から運営、

回収したゴミの処理までを全て生徒自身が行った。

・地元老人会、ロータリークラブ、地域の小学校などと

一緒に修善寺駅周辺のゴミ拾い及び環境整備を実施。



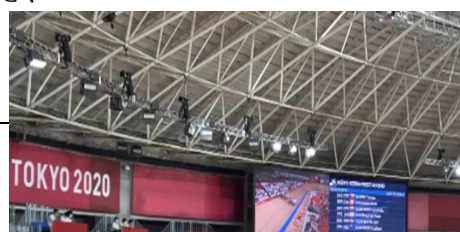
○【オリンピック会場「伊豆ベロドローム」での自転車競技：学校連携観戦】

期日：8月7日・8日（トラック競技）

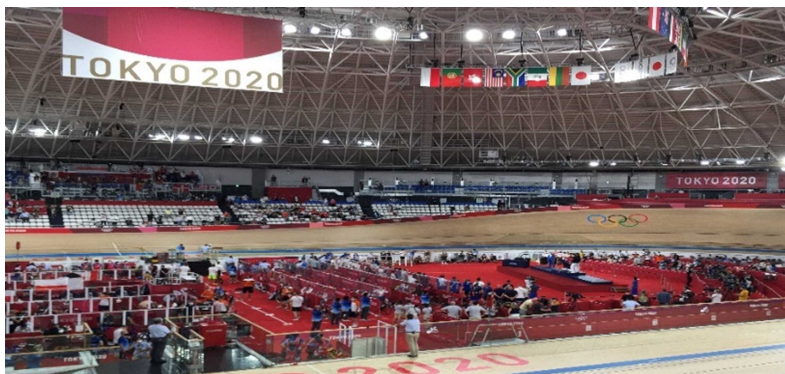
人数：70人（引率教員を含む）

・新型コロナウイルス感染症の影響によって、多くの競技が無観客での開催となったが、伊豆ベロドロームで開催された自転車競技は有観客での開催になったために、校内で観戦希望者を募り観戦することができた。

・会場に入る前には感染症対策や厳重な警備を目の当たりにするなど、競技以外にもこれまでに経験したことのないオリンピックの雰囲気を実際に味わうことができ、観戦した生徒は感動とともに忘れることのできない時間を過ごすことができました。



“本物”に触れることができ、
一生の宝物になったようです。



○【サイクルスポーツセンター（以下、「CSC」という。）との連携】

2年生及び3年生の学校設定科目「ライフスポーツ」選択者に対して、

CSC（伊豆ベロドローム）で自転車競技に関する授業を実施。

※本年度はベロドロームがオリンピック・パラリンピック会場となり

大会後も使用不可のため、CSC自転車競技用400バンクを使用し

て実施した。

・2年生（11月～1月、計10時間を実施）

・3年生（11月～1月、計10時間を実施）

・指導はCSC職員が担当、生徒の体型に合わせた競技用自転車、

シューズ、ヘルメットを準備していただき、400mバンクコース内で

走行、タイム測定を実施。

・東京2020大会の会場となった伊豆ベロドロームや授業を行った

400mバンクで練習をしているオリンピック・パラリンピック日本代表

選手や海外の選手の走行を間近に見ることもあり、本物に触れる機会

としてもとても充実していた。

（生徒の感想）

・競技用自転車の特性に慣れるまで怖かったが、丁寧に教えていただけ

きとても楽しく授業ができました。

・初めのうちは怖さもああったけれど、練習している間に上手に乗れるよう

になってとてもうれしかったです。実際にオリンピックで競技を見て

見たかったなと思いました。

・自転車競技の体験をしてみてアスリートの凄さをあらためて

感じまし

た。貴重な機会をいただきありがとうございました。

・はじめて自転車に乗りました。今まで一度も経験のなかったことで、
始めは恐怖しか感じませんでしたが、丁寧に教えていただき最後の
授業ではとても楽しく自転車に乗れました。うれしかったです。



○【静岡県ゴルフ場協会との連携】

2年生及び3年生の学校設定科目「ライフスポーツ」選択者に対して、
本校グラウンド及び近隣のゴルフ練習場、大仁カントリーコースでの
ゴルフ競技に関する授業を実施。

- ・2年生（5月～7月、計20時間を実施）
- ・3年生（5月～7月、計20時間を実施）
- ・指導は静岡県ゴルフ場協会所属のプロゴルファーが担当、はじめてのゴルフ体験であったが生徒の興味・関心は強く、自分の思ったようにボールを打てるようになった時にはとてもうれしそうな表情を見せてゴルフを楽しんでいた。

○【東京2020パラリンピック代表選手による講演会】

期日：令和3年10月11日(木)

講師：杉浦 佳子氏

（東京2020パラリンピック自転車競技金メダリスト）

演題『困難を乗り越える勇気 ～伊豆総合高校生に伝えたいこと～』

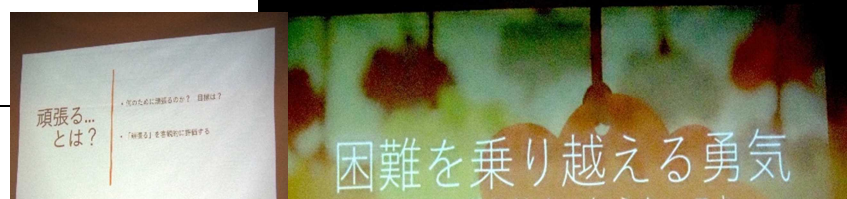
（内容）

・自らのこれまでの人生を振り返りながら、高校生に対して何事にも

あきらめることなく挑戦していくこと、困難なことに立ち向かうことで

成長していくことなどを語りかけていただいた。

※同日は杉浦氏と一緒に、スポーツ庁長官室伏広治氏も来校し、短い時間であったが生徒に向けてエールを送っていただいた。





《生徒の感想》

- ・話の中で「困難はチャンス」という言葉が印象に残っています。
新しい自分になれると思って頑張れば良いことがある。私にもこれから困難があると思うけど頑張りたいと思った。
- ・あきらめないことの大切さを知りました。自分は今から仕事を始めるにあたって不安なことがありましたが、気持ちがすごく和らぎました。
- ・目標を立てて頑張ることで必ず報われるということを知りました。その時まで頑張りたいと思いました。
- ・困難を乗り越える勇気が必要なんだとわかりました。私も小さな目標でもいいから立てて、毎日頑張ってみようと思いました。
- ・障がいを持ちながらも頑張っている人たちを支えられる理学療法士になりたいと強く思いました。
- ・努力することの大切さ、「ありがとう」という言葉が持つ力を教えてもらいました。これからの生活の中で意識していきたいと思います。

6 主な成果

- ・保健体育科、総合的な探究の時間を活用した取組によって、オリンピック・パラリンピックに関して行われる競技種目やその内容について興味や関心を持つことができた。
- ・修善寺大掃除を通してボランティアの精神、地域への貢献について学ぶことができた。
- ・パラリンピック金メダリスト杉浦佳子氏の講演を聴いて、障がいを抱えても心を強く持って生活していくこと、自分自身の生活を振り返る機会となったとともに、日常の当たり前をより大切にしていかなければいけないことを考えることができた。

| | |
|---------------------------------|---|
| <p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・保健体育科、総合的な探究の時間の授業を中心に取組をスタートさせたが、新しい取組に対して、教員が負担を感じることはないように、従来の授業展開の中にオリンピック・パラリンピックに関する知識の習得につながる内容を取り入れることとした。 ・本校は地域特性としてサイクルスポーツセンターとの関わりが深く、自転車競技部も練習場所の提供や指導のサポートを受けている。そのため、学校設定種目「ライフスポーツ」において、自転車競技を授業内容としてサイクルスポーツセンター内の競技用バンクを利用して、サイクルスポーツセンター職員による指導を受けることができている。 ・パラリンピック選手の講演会を実施することで、非日常の世界観を感じることができるとともに、自分自身の生活を振り返る機会とし、今後の生活に対して前向きな気持ちを持つことができるようにした。 |
| <p>8 主な課題等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・開催地市に所在する高校として、他校とは違った特色ある取組を企画・立案することで、本校生徒に伊豆総合高校在学中にオリンピック・パラリンピックを体験できたことを誇りに感じるができるものとしたかった。 |
| <p>9来年度以降の実施予定</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・保健体育科の授業や「ライフスポーツ」での授業内容は継続して実施していくことと考える。 ・本校におけるオリパラ教育への取組が、東京2020オリンピック・パラリンピックが終了した後も教員の負担が増すように感じることがないように継続して実施できるようにしたい。 |